

一立 大連市議会だより

2011
8.1
No. 133
TENDO



豊かな緑に囲まれた成生児童館。生き生きした大きな木の下に、年長児19人、笑顔で集合！
成生小学校や公民館の敷地もお借りして元気に遊びまわるぞ。

6 月定例会

一般質問……………	2 ～ 5	意見書の提出……………	10
総括質疑……………	6	提出議案と結果……………	11
予算特別委員会……………	7	市民の声……………	12
特集……………	8 ～ 9		

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月9日・10日の2日間の日程で、8人の議員が行いました。

3月11日に発生した東日本大震災に関連した今後の防災対策や高齢者福祉の充実を図るための地域包括ケア体制の強化のほか、子育て応援のための環境整備などについて、市長等の見解を求めました。

耐震化計画

市有施設の耐震化の見直しは



石垣昭一議員

本市の耐震化計画において、災害時に

防災活動の拠点となる公共施設の耐震化は、喫緊の課題とされている。耐震二次診断結果ではIs値の極めて低い施設もあり、市有施設の耐震診断結果と耐震化計画から見た見直しについて、スピード感をもった対応が必要と思うが市長の考えを伺いたい。

山本市長 本市では、19年度に策定した天童市建築物耐震改修促進計画に基づき、市有施設の耐震化実施計画を策定しており、今年度までに30施設の耐震診断を完了する予定である。耐震診断に基づく改修工事については、21年度から地域の避難所として位置付けられている教育施設を最優先として実施しており、小中学校は24年度に全て完了する予定である。また、特定建築

物で、主に3階建以上で延べ床面積1000平方メートル以上の施設については、27年度までに耐震化90%を目標としている。その他の施設については、

今年度の耐震診断の結果を踏まえ、指定収容避難所及び災害対策本部の建物を優先して改修順位を決定する考えである。耐震補強工事が必要とされる施設の中には、市庁舎や市民文化会館等も含まれており、多額の事業費が見込まれることから、財政状況や国の助成制度の動向等を見極めて、耐震化実施計画の見直しを進めていきたい。



▲耐震補強工事予定の市立公民館

質問者と質問事項

(☆印は会派名)

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

* 東日本大震災での教訓と今後の防災対策について

山口桂子議員

* 子育て応援について
* 災害時における子どもの安全のために

★政和会

松田光也議員

* 電力不足に対応する本市の取り組みについて
* 山形空港周辺環境整備対策の推進について

★かがやき

松田耕一議員

* 防災対策について
* スポーツ振興について

結城義巳議員

* 原子力発電事故について
* 土地区画整理事業地内の土地利用について

後藤和信議員

* 災害に強いまちづくりについて
* 観光のまちづくりについて

矢萩武昭議員

* 市政における危機管理について

地域包括ケアシステムの構築は

構築は



伊藤和子議員

地域包括ケ

アシステムを構築するとし

ているが、天童市でどう進んでいるのか。社会福祉協議会に委託しているが、関係機関とのネットワークの構築は。また、中学校区ごとに分割する必要があると思うが今後の

方針は。

山本市長 本市においては、

地域包括支援センターを1カ所設置し、高齢者の生活を包括的・継続的に支えるために、地域住民、介護サービス提供者、医療関係者及び行政等による人的ネットワークづくりに取り組んでいる。市民の意見を十分にお聞きしながら、

今後高齢者福祉の充実を目指す。地域包括ケアシステムの構築に努めたい。現在は地域包括支援センターのほか、在宅介護支援センターを市内4カ所に設置しており、相互連携による体制強化に努めている。高齢者の健康保持、生活の安定のため、より効果的で

きめ細やかな援助・支援が必要であると考えているので、設置数については、現状を検討した上で、今年度に策定する第5期介護保険事業計画の中で方針を決定したい。

避難所体制の整備について



矢萩武昭議員

この度の東日本大震災に

おいては、多

くの公立小・中学校が防災拠点として大きな役割を果たした。本市の小・中学校の施設においても、耐震性の強化、自家発電の設備、井戸等の整備に努め、「備えあれば憂い無

し」の教訓に学びながら、防災拠点として整備することを求めたい。

山本市長 本市の地域防災計

画では、小・中学校を市立公民館と同様に収容避難所として位置付けており、避難者数に応じて避難所の開設を行うものと考えている。今回の地震における本市の震度は5弱

で、建物の倒壊がなかったことから、避難者数を想定し、3月12日に、市立公民館を避難所に開設したものである。小・中学校には、自家発電

電機や投光機などの防災資機材が配置されていない状況である。今後、庁内部署や各団体と様々な観点から検証を行い、市立公民館への防災資機材の整備の方向性を定めたいと考えており、小・中学校を避難所に指定したときは、市立公民館との連携による防災資機材の活用を図りたい。

東日本大震災を

教訓とした対策は



松田耕一議員

東日本大震

災を教訓とし

いて想定の見直し、対策が必要でないか。自主防災会の役割は何か。活動に対する研修指導はどうしているか。市政や災害非常時情報の携帯メール配信をするべきでないか。

被害の軽減のために、天童市

水防計画に基づき洪水ハザードマップを利用し、防災意識の向上につなげたい。

自主防災会の役割は、地域住民が協力して自分たちの身を守る共助の精神の下に、防災活動に取り組むものと考えている。平常時の活動や非常時の初動活動のマニュアルを配布しており、研修・訓練の実施について積極的に支援していきたい。また、災害発生時における災害情報の携帯メール配信については、電話に比べ、広報の手段として有効であると考えている。震災などの非常時の連絡手段として、今後、メール配信システムの構築や広域利用等の可能性について改めて調査研究していきたい。

山本市長 本市では、台風や集中豪雨などによる水害防止対策として、天童市雨水排水基本計画に基づき、順次、雨水排水施設の整備を行っている。なお雨水排水の放流先は、倉津川や押切川など、県が管理している河川であることから、基準となる降雨強度等の技術的指針に基づき県と協議を行い、雨水排水施設の排水能力や規模を決定している。今後とも県との調整を図りながら雨水排水施設の整備を進め、水害防止に努めたい。また、洪水に対する警戒、防御、



▲昨年の市防災訓練

子育てしやすい

職場環境を推進しては



山口桂子議員

県では「やまがたイクメン応援プロジェクト推進事業」に取り組み、積極的に育児に参加する男性を増やそうとしている。「子育て支援日本一」を掲げる本市は、男性が育児休暇を取

得しやすい職場環境整備をどのように推進していくのか。また、父子手帳を配布する考えはないか。

山本市長 本市では、17年度から両親教室等を開催し、父親の育児参加や役割意識の醸成を図ってきており、近年の父親の参加率は9割を超えている。引き続き母子保健事業の充実を図りながら、男性の

育児に対する参加意識の醸成に努めたい。また、育児の環境整備が社会的に重大であり、本市としてもワーク・ライフ・バランスを推進していくため、県の取組を活用しながら、企業など関係機関に周知していきたい。また、本市では、妊娠届出時に母子手帳のほか、子育ての基礎知識や、父親としての子育てへの関わり方が記載されている小冊子を配布していることから、現在のところ、市が父子手帳を配布することは考えていない。

山形空港周辺整備

早期着手を県に

強く要望すべきでないか



松田光也議員

東日本大震災により、山形空港の重要性があらためて認識された。

県と本市と向原とで交わされた20便協定において、未整備道路と民家防音機能回復工事の早期着手、さらに乱川から山形空港までの天童山形空港線の早期着手を県に強く要望すべきではないか。

は、世帯からの要望に基づき、空調機器等の更新事業に取り組んでいる。今後とも県に対して予算の確保を要望していきたい。

次に、都市計画道路天童山形空港線については、ネットワークの重要な路線であると認識している。長年、市の重要事業の一つとして県に対し、要望活動を続けてきた結果、山形県道路中期計画において、主要地方道山形天童線羽入工区として位置付けられた。目標年次の2018年に向け、事業の早期着手及び完成に向け、直接、知事に要望してきたところである。

市独自に放射線量を

測定してはどうか



結城義巳議員

原発は安くて安全なエネルギーと言われているが、安くはなく危険極まりないものである。人命重視のエネルギー政策に転換するよう、国へ訴えてはどうか。国から出されている情報は遅く、信用もできない。市

独自に市内5カ所位で放射線量を測定し公表してはどうか。

山本市長 原子力発電の絶対的な安全性が確保できないのであれば、容認することはできないので、経済発展の道筋を踏まえながら、代替エネルギーの議論が尽くされる必要があるだろう。情報開示については、その正確性において、

大変な混乱を招いていると認識しており、国に対して、迅速かつ分かりやすい情報提供を行うよう求めていきたい。次に、放射線量測定については、検査機器の種類や測定方法、検査項目等が異なる場合に、数値の信頼性が疑われることが懸念される。現在、県が計画的に実施している農畜産物の放射性物質検査において、ヨウ素及びセシウムについて検査結果を公表している。本市としてもその結果に基づき適切に対応したい。

山本市長 20便協定とは、山形県と天童市、向原町内会と、平成4年4月に締結を更新した「山形空港周辺環境整備対策に関する確認書」のことであり、この確認書には、市道向原1号線の整備について記載されている。この道路整備事業は、県の厳しい財政状況を理由に、未着手となっているが、現在は事業の推進に向け、県の担当課と打合せを行っているところである。民家防音機能回復工事について



▲向原地内の道路整備が待たれる

市内の桜名所を

観光振興に活かしては



後藤和信議員

市内には桜の名所が多い。

舞鶴山には樹

齢約100年のソメイヨシノや樹齢約400年のエドヒガヤン桜、しだれ桜の古木など約2000本の桜がある。石鳥居、貫津の種まき桜、田麦野の大山桜、小原や上山口のイ

又桜等もある。点から線に時間を加えた新マップを作り観光振興に役立ててはどうか。

山本市長 本市には、舞鶴山

や市街地のさくら回廊のほか、数多くの桜の名所や桜並木が整備されている。新たなさくら回廊の整備として、今年度から取り組む愛宕沼周辺親水空間整備事業では、水辺周辺

に遊歩道を整備する計画である。整備に当たっては、桜の樹種を含め、広く市民の意見をお聞きしながら進めたい。桜マップについては、天童公園や倉津川のしだれ桜など、市内の観賞ポイント14カ所を紹介した「天童桜マップ」と、舞鶴山や市街地のさくら回廊を紹介した「わくわく天童ゆうゆう散歩」の2つのマップを作成している。これらのマップは、道の駅や温泉旅館、市内観光施設に設置して、観光ピーリアルに活用している。

人権擁護委員 6 氏に同意

人権擁護委員のうち、平成23年9月30日をもって任期満了を迎える5氏についての再任及び平成23年3月31日をもって辞任した委員の後任について、次の6氏を推薦することに同意しました。

- ◇再任 氏家 榮脩 (山元)
- 阿部 法隆 (高揃)
- 松村 昌子 (久野本)
- 鈴木 敏夫 (交り江)
- 佐藤 繁雄 (蔵増)
- ◇新任 大石ヨシ子 (藤内新田)

農業委員 3 氏を推薦

現在の農業委員が、平成23年7月19日をもって任期満了となることから、農業委員として、次の3氏を推薦することに決定しました。

- ◇再任 水戸 保 (奈良沢)
- 山口 静子 (山元)
- ◇新任 大石美貴子 (藤内新田)

第1回臨時会

平成23年度第1回市議会臨時会が4月22日に開催され、市長提出議案3件と報告案件5件が審議され、原案のとおり可決・承認されました。

▼報第1号 平成22年度天童市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて

地方贈与税等の確定等に伴い、補正予算について専決処分したので、その承認を求めるもの。

▼報第2号 平成22年度天童市老人保健特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて

事業費の確定に伴い、補正予算について専決処分したので、その承認を求めるもの。

▼報第3号 平成22年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて

事業費の確定に伴い、補正予算について専決処分したので、その承認を求めるもの。

▼報第4号 平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第5号)の専決処

分の承認を求めることについて

事業費の確定に伴い、補正予算について専決処分したので、その承認を求めるもの。

▼報第5号 平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う災害に係る被災者に対する入湯税の課税の特例に関する条例の専決処分の承認を求めることについて

東日本大震災の被災者に対する入湯税の課税を免除するための条例を専決処分したので、その承認を求めるもの。

▼議第1号 平成23年度天童市一般会計補正予算(第1号)

東日本大震災の影響を受けている市内企業の経営安定のための利子補給金や雪害対策事業に係る経費など4501万8000円を追加するもの。

▼議第2号 天童市市税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を改定するもの。

▼議第3号 荒谷西工業団地の分譲地の処分について

荒谷西工業団地の分譲地を処分するため、議会の議決を求めるもの。

総括質疑

6月13日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、日本共産党天童市議団の伊藤和子議員が総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

◆議第8号山形市との間において定住自立圏形成協定を締結するについて

山形市の協定 費用負担と 休日夜間診療所運営は

伊藤(和)議員 第4条で費用負担は甲乙協議して決めるとあるが、どの程度の負担になるのか。また、休日夜間診療所の運営に、天童市東村山郡医師会の関わりは。

総務部長 定住自立圏構想連携施策における費用負担の基本的な考え方は、①事務委託等の場合、②山形市の施設やサービスを利用する場合、③

共同して行う事業の場合があり、具体的には今後策定する共生ビジョン等により、互いに協議して決めることになる。

山形市休日夜間診療所と天童市東村山郡医師会の関わりは、現在と同様に、小児科の夜間診療について、月1回から2回程度の派遣協力要請が天童市東村山郡医師会に対してあると思われる。

山形県後期高齢者医療広域連合議会

山形県国保会館(寒河江市)で、広域連合議会が開催され、平成23年度の予算及び条例が可決されました。

平成23年度医療特別会計予算は、前年度比2・9%増の1393億1241万6000円となりました。保険給付費等は前年度比3・16%増を

見込みました。また、レセプト管理システム運用管理業務について、ソフトのリースが終了するため、単価が大幅に引下げられました。新規事業として、ジェネリック医薬品利用促進を図るため、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の「差額通知」を行うこととしました。



条例の一部改正では、所得の少ない方に係る保険料の賦課額の特例などが可決されました。

議会のうごき

- 4月22日 議会運営委員会
第1回市議会臨時会
各派代表者会
委員長会議
- 27日 市長要請経済建設常任委員会(天童公園山頂広場の整備について)
- 5月2日 各派代表者会
- 6日 経済建設常任委員会(行政視察について)
- 10日 各派代表者会
- 16日 議会運営委員会
- 16日 市長要請総務教育常任委員会(定住自立圏形成協定について)
- 17日 各派代表者会
- 24日 市長要請全員協議会(株スポーツクラブ天童、市牧野公社、市文化・スポーツ振興事業団、市土地開発公社の経営状況並びに事業計画について)
- 25~26日 全員協議会(会派人数の変更、議員定数削減について)
- 27日 市長要請経済建設常任委員会(八幡山第2配水池の工事の実施について)
- 27~28日 東北市議会議長会定期総会(ホテルメトロポリタン仙台/議長・副議長・局長)
- 27日 東根市外二市一町共立衛生処理組合臨時会
- 30日 各派代表者会
議会運営委員会
山形県市議会議長会定期総会(山形グランドホ

- テル/議長・副議長・局長)
- 6月6~22日 第2回市議会定例会
- 6日 広報委員会
- 6日 総務教育常任委員会所管事務調査(八幡山第2配水池の工事の入札について)
- 14日 全国温泉所在都市議長会協議会総会(全国都市会館/議長・局長)
- 15日 全国市議会議長会定期総会(日比谷公会堂/議長・局長)
- 17~18日 さくらんぼトップセールス(小田急新宿店/議長・市長外)
- 21日 各派代表者会
議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会(2回)
広報委員会
- 7月1日 広報委員会
- 6日 市長要請環境福祉常任委員会(夏期の電力需給対策に伴う休日保育特別事業等について)
- 11日 東根市外二市一町共立衛生処理組合定期総会
- 15日 広報委員会
- 15日 国と地方の協議の場等に関する特別委員会(全国都市会館/議長・局長)
- 19~21日 政和会行政視察(三重県松阪市外)
- 22日 各派代表者会
市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院改革プランの進捗状況について)
- 26日 後期高齢者医療広域連合定例会



予算特別委員会での審査

予算特別委員会

23年度一般会計補正予算

3306万6千円を
増額補正

一般会計補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

マールボロウ青少年大使派遣事業費の内容は

委員 青少年大使派遣事業費60万円が計上されたが、その内容は。

学校教育課長

昨年度3月に派遣する予定だったが、東日本大震災の影響により、成田空港までの交通手段がつかず中止した。よって前年度中止とした分、今年度の夏休みを利用して4人の生徒を派遣する予定の予算である。また校長会補助金40万円は、その際の引率教師の旅費である。なお、今年度の派遣は予定どおり24年3月に行う予定である。

緊急経済雇用対策の具体的内容は

委員 緊急経済雇用対策に要する経費189万5000円について具体的内容について伺いたい。

商工観光課長

現在東日本大

震災で市内に避難されている失業者を対象に、2名を雇用することに伴う経費である。

認可外保育施設に対する支援の内容は

委員 認可外保育施設への子育て支援事業費補助金600万円は、全ての施設を対象に行うのか。補助基準の内容は。どのような助成を行うのか。

子育て支援課長

この補助金は、全ての認可外保育施設に対して行う。県が認可外保育施設の利用者に対して新たな助成制度を行うため見直した。市では、これまで独自に利用者に対して子ども1人目5000円、2人目1万円、3人目2万円の助成を行っていたが、新たに県が創設した補助金が2人目1万2000円、3人目2万4000円となつたため、市の補助金を1人目6000円、2人目1万2000円、3人目2万4000円と改正するため、当初予算との差額を補正するもの。

稲作振興に係る乾燥調整施設等リニューアル対策は

委員 稲作の振興に要する経費の乾燥調整施設等リニューアル対策支援事業費補助金1486万8000円についての具体的内容は。

農林課長

安定良質の穀物を消費者に供給するため、カントリエレベーターなど4カ所の米の乾燥施設のリニューアルのための補助である。

果樹振興に係る共同利用施設長寿命化事業は

委員 果樹の振興に対する経費の園芸拠点共同利用施設長寿命化支援事業費補助金13万3000円についての具体的内容は。

農林課長

過去に国、県より

施設の建設に対して補助を受けていることが条件で、原崎地内のフルーツセンターの果樹の選果のためのカメラなどを更新するもの。

絆の森整備事業の予算科目変更の理由は

委員 みどり環境の推進に要する経費の絆の森整備事業費委託料132万3000円が、なぜ全額人夫賃に変更になったのか。

農林課長

県から地域住民との協働による整備内容に振り替えるようにとの指導があり、委託料として計上していた額を特殊作業に係る人夫賃として計上するもの。

一般会計補正予算(第2号)のあらまし

補正額 3306万6千円
予算総額 201億808万4千円

◆主な内容 (単位：千円)

認可外保育施設の支援に要する経費	6,000
緊急経済雇用対策に要する経費	1,895
稲作の振興に要する経費	14,868
果樹の振興に要する経費	1,333
教育指導一般に要する経費	400
青少年大使の相互交流に要する経費	600

議会では⑭

今回は

◆議員定数削減案 ◆議長の不信任

議員定数削減

◆現在の議員定数22人を20人に削減しようとする議員提出議案「天童市議会議員定数条例の一部改正について」が提出され、6月22日の本会議において、討論の後、議長を除く議員20人で採決が行われ、賛成少数(賛成7人)で否決された。

経過

平成23年5月17日の各派代表者会において議員定数削減の提案があり、5月24日の議員全員協議会で意見交換を行い10人の議員が意見を述べた。「前回の改選で4人減をした時は約1年半かけて取り組んで結論を出した」「9月の改選時期まで3カ月と期間が短い」「時間をかけて、天童市としての適正な議員数や議員報酬など協議していくべき」などの意見が多く、賛成の意見は出なかった。

5月30日の各派代表者会で、議長は「条例案の提出は議員としての権利であり、本会議に上程する」と報告し、「天童市議会の慣例申し合わせでは、各派代表者会で協議が必要だ」との発言を取り上げなかった。6月17日に、議案案として全議員に配布され、討論の通告が当日の午後2時となっていたため、三つの会派から協議が整わない中での「議案案」に対する抗議の声が噴出した。6月21日の各派代表者会で、議長は「認識不足だった、協議を行う」とし、協議の結果「議員提案」として提出することとなった。

提案説明

提案者(鈴木議員)

天童市議会における議会改革を進めるため、議員定数22人を20人に改めるもの。議員定数の削減を望む市民の声は、東日本大震災後に急速に大きくなってきている。その声に迅速に対応するものである。現在欠員1人で、21人で議会運営されており、現実問題として20人で議会運営が可能と思う。30人であった議員定数から3割以上も削減されることになる。改選時期までの期間が短いという意見があるが、議員定数の削減は議会改革の第一歩。

県内13市の状況

市名	議員定数(人)	人口(人)	議員一人当たりの人口(人)
山形市	35	254,084	7,259
鶴岡市	34	136,627	4,018
酒田市	30	111,170	3,705
米沢市	24	89,392	3,724
天童市	22	62,225	2,828
東根市	18	46,412	2,578
寒河江市	18	42,334	2,351
新庄市	18	38,856	2,158
上山市	15	33,843	2,256
南陽市	19	33,664	1,771
長井市	16	29,476	1,842
村山市	17	26,820	1,577
尾花沢市	16	18,961	1,185

(人口は、平成22年国勢調査の速報値)

天童市議会議員定数の推移

	議員定数	削減数	法定定数(※1)
市制施行(S33.10)～	30人	—	30人
昭和56年9月(※2)	30人	—	36人
昭和62年10月～	26人	△4人	36人
平成14年6月(※3)	26人	—	30人以下
平成19年10月～	22人	△4人	30人以下

※1 地方自治法に規定されていた地方自治体の人口に応じた議員数(議員数の上限)。平成23年の地方自治法改正で規定が撤廃され、地方自治体の自由度が拡大され、条例により議員数を自由に決められるようになった。

表の法定定数は、その当時の地方自治法に規定されていた天童市の議員定数。

※2 昭和55年の国勢調査により天童市の人口が5万人を超えたために、議員の法定定数が30人から36人になったが、条例(天童市議会議員の定数を減少する条例)により議員定数を30人のままとした。

※3 平成14年の地方自治法改正で議員定数の上限が規定され、地方自治体が条例(天童市議会議員定数条例)において上限以内で自主的に定めることとなった。

議会改革に期日があるものではなく、常に進める必要がある。

質疑

石垣議員

2人減の根拠はどこにあるのか。

提案者（鈴木議員）

現在の3つの常任委員会の状況で、20人でも議会活動が可能であると考えます。

伊藤（和）議員

議員定数2人削減でどの程度議会改革が進むのか。

提案者（鈴木議員）

約1300万円の報酬とその他の諸経費が削減される。

討論

《反対》

真の議会改革は、議員定数削減のみで達成されるものではなく、議会の役割や機能を再確認して、今、議会に不足しているのは何なのか？問題点は何？その原因は何か？をしつかり把握したうえで、議会改革をしていくべきである。

単に議会の力や機能を手放してしまうような今回の10%2人削減案には同意できない。

《賛成》

問われるべきは、議員の数よりも質であり、質の高い議員は、少数でも市民の声を吸い上げ、地域全体の利益につながる政策に結びつけることができるかと確信している。

天童市議会が現状に甘んじることなく、常に改革への志を掲げ、これからの議会のあり方を構築しようとするものであり、賛成するものである。

《反対》

議員は市民の代弁者であり、少なくなれば市民の声が市政に届きにくくなり、市民のための市政運営にとつてはマイナスになる心配がある。

市民から信頼され、期待される議会改革をすることが最も大切であり、本市の議員定数や議員報酬について、時間をかけ、議会あげて検討しなければならぬ重要な事項である。

《反対》

我々議員は、市民の声を真摯に受け止め、選挙公約を真

現する活動と議会での活発な論議、行政チェックを行う、活発な政策提案とそのための学習・研究、市民の奉仕者と

市民の声を市政に反映させるためにも、議員定数を削減する改正案には反対である。

市民の声を市政に反映させるためにも、議員定数を削減する改正案には反対である。

の任 長信 議不

◆6月22日の6月定例会の最終日に伊藤護國議長の不信任動議が提出された。当事者である伊藤議長が本会議場から退席し、提案理由の説明、質疑の後、議長役の小松副議長を除く19人で採決が行われ、賛成多数（賛成13人）で可決された。

提案説明

提案者（狩野議員）

鈴木議員提案の「議員定数削減案」を慣例申し合わせに反し、地方自治法及び会議規則第14条第1項の規定により「一定の賛成者がいれば誰でも提案できる」と各派代表者会で協議せず、議案案として強引に上程しようとした。

り、平成22年3月議会で不信任が可決されている。

鈴木議員

今回は、身内が市関係に就職していることが判明した。昨年6月から今年3月まで臨時職員、そして4月からは、最長3年間延長できる嘱託職員に就いている。昨今の経済不況・震災の影響により、失業している人も少なくない時代に、市民感情では納得できない。

議長的身内が市関係に就職しているのは事実か。また、事実であったとしても法に触れるのか。

提案者（狩野議員）

私が調べたところ事実である。法に触れるかどうかは分からない。

不信任議決の効力

一転して「認識不足でお詫びする、各派代表者会にて協議してほしい」としたが、混乱を招いた議会運営の進め方は、職権乱用であり、議長としての資質の欠如である。

政治倫理条例の第2条第2項には「議員等は市民の信頼に値する、より高い倫理観に徹し努めなければならない」とあり、これに抵触する。

議長又は副議長に対する不信任議決の法律上の規定はない。したがって、不信任議決を受けた議長又は副議長が自己の意思によつて辞職する場合は、その職を失うことはない。

平成21年12月議会において、下水道工事に絡み、地権者と市側と議長の同席が問題にな

天童市議会の長としての「品格と資質に欠ける」と言わざるを得ない。

合以外はその職を失うことはない。

◎5月27日 臨時議会

5月27日臨時議会が開催されました。議案の一つ目は、繰越明許費でゴミ焼却処理施設修繕事業と粗大ゴミ処理施設修繕事業が東日本大震災により年度内の完成が困難になり繰越するもので、共に4月中に完成引渡を終えています。

二つ目は、し尿処理施設改修工事の請負契約で、24年度からの「し尿等の下水道投入」に向けての工事契約で1月完成予定、契約金額は3億7273万9500円。
三つ目は組合の監査委員の選任で、河北町議の大場勇人氏を選任しました。

◎7月11日 定例議会

7月11日定例会が開催され、22年度決算の審議が行われ、認定されました。

このたびの東日本大震災で、被災地からの廃棄物を処理能力の範囲内で受け入れさせていただきます。

平成22年度組合会計決算

◆歳入

(単位：千円)

区分	決算額	摘要
分担金及び負担金	821,628	東根市 223,265、 村山市 118,233、 天童市 296,804、 河北町 102,104、 償還交付税 81,222
使用料及び手数料	740,872	し尿・ごみ処理手数料、 ごみ証紙収入など
財産収入	42,655	物品売払収入など
繰入金	18,650	施設整備基金繰入金
繰越金	96,003	前期繰越金
諸収入	9,542	太陽光売電収入など
組合債	167,200	一般廃棄物処理事業債
歳入合計	1,896,550	

◆歳出

(単位：千円)

区分	決算額	摘要
議会費	2,125	議員報酬など
総務費	368,803	事務管理費
事業費	1,315,942	し尿・ごみ処理費用など
公債費	203,680	償還金、借入金利息
予備費	0	
歳出合計	1,890,550	

6月22日に委員会提出の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

シルバー人材センターに対する補助金の確保を求める意見書

天童市シルバー人材センターは平成4年に設立され、定年退職者等の高齢者に対して、就業の場を組織的に提供することにより、高齢者自身の健康の維持や生きがいの実現を図っております。また、市行政と連携しながら、市の重点施策である高齢者世帯に対する軽度生活援助事業や子育て支援事業等を積極的に展開するなど、地域社会の一員として活力ある地域づくりに大きく貢献しております。

さらに、県内事業所において、定年の引上げや継続雇用制度の導入が遅れている中で、シルバー人材センターが行っている、高齢者等の意欲や能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保事業は、まさに高齢者の福祉の増進に寄与しているものであります。

こうした中で、国では行政刷新会議の事業仕分けを受けて、シルバー人材センターに対する補助金の大幅かつ急激な削減を始めています。

本市のシルバー人材センターにおいては、2年間に亘る大幅な補助金削減に対応するため、すでに、運営の抜本的な見直しや事業の縮小を実施し、シルバー事業を何とか維持しておりますが、危機的ともいふべき極めて厳しい運営を行っていることを認識しております。

このことから、シルバー人材センターに対する国の補助金がこれ以上削減されることは、シルバー人材センターの存続自体が危惧されます。

つきましては、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第41条に基づいて設置されているシルバー人材センターが、今後とも安定的な運営が図られるよう、国の補助金の充実確保を要望します。

(提出先は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣)

永年勤続表彰

6月15日に東京日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第87回定期総会において、永年勤続者として次の方が表彰されました。

◇議員15年以上

小澤 精議員

(H7.10～)

水戸 保議員

(H7.10～)

伊藤議長に感謝状

伊藤護國議長に対して、全国市議会議長会会長から同国会対策委員会副委員長としての功績に対して感謝状が贈られました。

6 月 定 例 会

平成23年度第2回定例会（6月定例会）は、6月6日から22日までの17日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件10件と人権擁護委員についての同意を初日の本会議で行いました。そのほか、予算議案1件、条例議案1件及び一般議案2件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議で、委員会提出議案の意見書1件、議員提出議案1件、緊急動議1件の採択も行われました。結果は、下記のとおりです。

（請願審査の結果については、12ページに掲載しています。）

審 議 日 程

月 日	内 容
6. 6	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など）
6. 9 6. 10	本会議（市政に対する一般質問）
6. 13	本会議（議案に対する総括質疑、議案・請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査）
6. 14	環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
6. 15	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
6. 16	予算特別委員会（付託案件の審査）
6. 17	予算特別委員会（討論、表決）
6. 22	本会議（全国市議会議長会会長の表彰状の伝達、委員長審査報告、質疑、討論、表決など）

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

議案番号	件 名	結果
報第6号	平成22年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第7号	平成22年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第8号	平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第9号	平成22年度天童市一般会計予算事故繰越しの報告について	報 告
報第10号	平成22年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報 告
報第11号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第12号	財団法人天童市牧野公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第13号	財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第14号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第15号	平成22年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報 告
議第4号	平成23年度天童市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）
議第5号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第6号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決 （全会一致）
議第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議第8号	山形市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて	原案可決 （全会一致）

（委員会提出議案）

議案番号	件 名	結果
委員会提出議案第1号	シルバー人材センターに対する国の補助金確保を求める意見書の提出について	原案可決 （全会一致）

（議員提出議案等）

議案番号	件 名	結果
議員提出議案第1号	天童市議会議員定数条例の一部改正について	原案否決 （賛成少数）
動 議	議長の不信任動議	可 決 （賛成多数）

第1回市議会臨時会〈4/22〉（市長提出議案）

議案番号	件 名	結果
報第1号	平成22年度天童市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認を求めることについて	承 認
報第2号	平成22年度天童市老人保健特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	承 認
報第3号	平成22年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	承 認
報第4号	平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	承 認
報第5号	平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う災害に係る被災者に対する入湯税の課税の特例に関する条例の専決処分の承認を求めることについて	承 認
議第1号	平成23年度天童市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
議第2号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 （賛成多数）
議第3号	荒谷西工業団地の分譲の処分について	原案可決 （全会一致）

市民の声

縁あつて天童に移り住んで30年が経ちました。この間、市の発展は目を見張るばかりです。立ち遅れていた久野本地区も近年道路が広く切り開かれ、大型店舗の進出で大変便利になりました。市長、議員、地権者の皆さんのお力のお陰と感謝致しております。

近くの公民館は利用しやすく、健康面頭の活性化、そして趣味と4つのサークルに入会して、毎週あるいは月1回楽しく活動しており、生涯学習として今後も続けてゆくつもりです。先日婦人会の一員として6月定例議会を傍聴する機会を得ました。あの大きな災害時の子ども達の安全な避難を、学校で、地域で、家庭で、どのようになされたか把握できなかった事が次々明らかになり、その上で、学校での災害教育、避難方法、連絡網などの見直しの提案がいくつか出され

市議会を傍聴して

佐藤 豊子(東久野本)

ました。停電時の連絡網の問題、親の職場からの帰宅時間までの子どもの安全など色々考えさせられる事ばかりでした。関係者からは丁寧な答弁が得られたように思われましたが、幼児から中学生まで防災スキンの支給には、予算の関係でできないと打ち切られてしまい残念でした。

各議員が真剣な議論を交わしながら、市政が決められていく様子を目の当たりにして、もつと関心を持たなくてはならないと、改めて考えさせられた一日でした。

婦人会を通しての「見守り隊」の一員として地域の子ども達とかかわり合い、お役に立ちたいと考えております。また、「いきいきサロン」の会員の方々と小旅行を機会に会話を通して、お付き合いをしていきたいと思えます。身近でできる事、気付いた事を議員さんに伝える事も一市民の役目だと考えます。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会
で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
シルバー人材センターに対する国の補助金確保を求める意見書の提出について	社団法人天童市シルバー人材センター 理事長 菅野洋一	環境福祉	採択
県道23号と荒原線を結ぶ市道の拡幅整備に関する請願	奈良沢部落会 区長 今田富雄 ほか2名	経済建設	継続審査

インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。また、生中継の約1週間後には、録画でもご覧になれます。どうぞご利用ください。

天童市議会 で

生中継又は録画中継を選んでください。

9月定例議会の日程(予定)

- 8月24日(水) 開会
- 26日(金) 一般質問
- 29日(月) 一般質問
- 30日(火) 総括質疑、常任委員会
- 31日(水) 常任委員会
- 9月1日(木) 決算委員会
- 2日(金) 決算委員会
- 5日(月) 決算委員会
- 6日(火) 決算委員会
- 7日(水) 予算委員会
- 8日(木) 予算委員会
- 13日(火) 閉会

※請願の締め切りは、8月16日(火)正午までの予定です。
※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●3月11日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者が、2万人以上にのぼる未曾有の被害をもたらした1000年に一度の災害でありました。さらに、被災した原子力発電所から放出された放射線による被害は、もつと広域で深刻な被害となつていきます。

今回の議会では、多くの議員が地震災害時の体制づくりや水害時救援など、地域の安全・安心を守るため、行政や市民の立場でできる防災に関する多くの課題について質問されています。

被災された皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

〈広報委員会〉

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤 和子 |
| 副委員長 | 後藤 和信 |
| 委員 | 松田 光也 |
| 委員 | 狩野 佳和 |
| 委員 | 村山 俊雄 |
| 委員 | 松田 耕一 |

